

課 題	1	新しい時代を担う子どもの育成
重点項目	3	幼稚園と保育園の連携・一元化

目的

0歳から就学前までの子どもの成長と発達を見据え、幼児教育と保育が受けられる機会を保障し、豊かな心と社会性を身につけた次代を担う子どもを育てていく環境を整備するとともに、地域のすべての子育て家庭を支援し、地域と家庭の子育て力の向上を図ることを目的として、幼保連携・一元化を推進します。

対象・手段

幼保連携の推進・・・愛日幼稚園と中町保育園の連携による合同の活動・行事の実施、合同保護者懇談会等
 幼保一元化の推進・・・四谷子ども園の開設、四谷幼保一元化懇談会等による保護者との意見交換、職員プロジェクトチームによる保育教育計画の作成等
 職員の共通理解を深めるための幼稚園教諭・保育士の合同研修の実施等

重点項目の方向

幼保連携・一元化に対する保護者や職員の理解が深まること、区民に理解され、地域に支えられる中で、人間形成の基礎の段階としての子どもの育ちの環境が実現されることを意図しています。

成果指標

指標名		定義			目標水準	
愛日・中町の幼保連携の実施 四谷子ども園(幼保一元化施設)の開設		連携・一元化の実施 17年度 愛日・中町の連携 19年度 四谷子ども園の開設			(平成19年度に2所連携一元化)	年度にの水準達成
連携・一元化に対する保護者の関心・理解の高まり		子どもの育ちの場としての幼保連携・一元化への関心・理解の高まり			(-)	年度にの水準達成
連携・一元化に対する職員の意識の深まり		幼稚園教諭・保育士の理解度向上			(-)	年度にの水準達成
重点項目の達成状況						
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
重点項目 成果指標	目標値1	所	2.00	2.00	2.00	保護者の関心・理解の高まり 子どもたちの日常的な交流や保護者アンケート、懇談会等を通じて、保護者の関心や理解の高まりを捉えることができています。
	実績1	所	0.00	1.00	1.00	
	目標達成率1 = /	%	0.00	50.00	50.00	
	目標値2					幼稚園教諭・保育士の理解度向上 職員PTによる課題整理や合同研修からは、相互理解が深まる状況が確認できる一方、文化や意識の違いがさらに明らかになった部分もあります。
	実績2					
	目標達成率2 = /					
	目標値3					
	実績3					
	目標達成率3 = /					

主な取組み

愛日・中町の幼保連携：日々の連携、幼保運動会・合同遠足等の行事の実施、19年度合同保育実施の決定(9月)、合同保護者懇談会4回実施
 四谷子ども園：新宿区立子ども園条例の制定、四谷幼保一元化懇談会6回ほか保護者懇談会の実施、職員PTによる保育教育計画・子育て支援事業計画の策定
 幼稚園教諭と保育士による合同研修：理論研修、交流保育、ビデオカンファレンス等

課題

愛日・中町の幼保連携は、合同保育の実践の過程を通して、両園職員が積極的に参画し、課題整理を行う仕組みを構築するとともに、共通理解を深め、保育・教育に反映していくことが課題です。19年4月には、四谷子ども園が開設しました。職員PTによる保育教育計画の策定過程等を通して、職員の相互理解が深まる状況が確認できる一方、文化や意識の違いが更に明らかになった部分もあります。また、幼児教育のあり方検討会最終報告書を踏まえた今後の新宿区における幼保一元化施設のあり方を考えていくことも必要です。

評価

総合評価	
<p>愛日・中町の幼保連携については、日々の連携や幼保合同による行事の実施などにより、子どもたちが相互に刺激しあい、活動や交流は広がっています。また、そのことが保護者の期待感につながっています。より連携を深め、広げるかたちでの合同保育の枠組みと課題を整理し、19年度の園児募集に反映することができたと評価しています。</p> <p>四谷子ども園は、懇談会や説明会等の過程を通じて、保護者・地域の方にも、子ども園のしくみを理解していただく中で、園児の入園を決定し、開園を迎えることができました。また、幼保連携・一元化の中での実践の取り組みや合同研修等を通じて、さらなる職員の相互理解を深め、保育・教育に反映していくことが必要であると評価します。</p>	A

今後の取組み・改革の方針

愛日・中町の幼保連携については、これまでの取組みと評価を踏まえ、連携の取組みが一層、進み、深まる具体的な方策を、幼稚園・保育園職員が参加するプロジェクトチームで、引続き、検討していきます。

四谷子ども園については、園運営におけるPDCAサイクルの中で、保育教育計画と子育て支援事業計画の検証を行い、20年度の園運営に反映していきます。

今後の新宿区における幼保一元化施設のあり方については、「幼児教育のあり方検討会最終報告書」を踏まえ、方向性を整理していきます。

重点項目を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
幼稚園と保育園の連携・一元化	A	39		